

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：児童福祉諸費

事業名 子育て人材支援センター事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部 子育て支援課 子育て人材支援センター 電話番号：058-214-8902

E-mail：kosodateshien@govt.pref.gifu.jp

1 事業費 11,252 千円 (前年度予算額： 10,260 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	10,260	5,130	0	0	0	0	0	0	5,130
要求額	11,252	5,626	0	0	0	0	0	0	5,626
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

令和 7 年 4 月 1 日現在、県内における待機児童数は 0 名となっているものの、年度途中の育児休業からの復職等に伴い、低年齢児の保育需要が高まる傾向にある。また、放課後児童クラブにおいても、共働き世帯の増加等により利用希望が増加しており、支援員の確保が課題となっている。これらの状況を踏まえ、保育士等及び放課後児童支援員の安定的な確保に向けた取組を一層強化する必要がある。

(2) 事業内容

①求人・求職マッチング及び各種相談事業(オンライン相談含む)

就職支援・相談員等を配置し、保育所・保育士等の求人・求職相談への対応や就職斡旋の実施、現役保育士からの悩み相談等に対応。

②「保育のしごと」見学会

保育に興味・関心を持つ方や潜在保育士等を保育の仕事を知ってもらう見学会

③保育の魅力紹介学生セミナー

保育士養成施設の就職活動前の学生及び中高生向けに、現役の保育士が講師となり保育の仕事の魅力等を伝え保育所等への就職意欲を高めるためのセミナーの開催。

④養成施設向けライフデザイン講座

③に合わせてライフデザイン講座を実施し、保育の仕事と家庭等を両立し継続していくことについて考える機会を創出する。

⑤センター出張相談会

センターの P R 及び潜在保育士への働きかけを強化するため、県内のハローワーク等において出張相談会を開催。

⑥子育て人材支援センターポータルサイト改修

子育て人材支援センターのポータルサイトを改修し、より事業者が求人登録等行いやすい体制を構築する。

⑦働き方改革、業務改善セミナー

従事者の定着を支援するため、施設管理者および運営者向けに業務軽減等に資する研修を実施し、職場環境の改善を図る。

⑧広報・情報発信事業

センターの取組みの周知や保育人材の募集、各種事業、相談会等の告知等を実施。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1 / 2、県 1 / 2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	2,495	事務用品購入費、ノベルティ購入費、チラシ・ポスター印刷
委託料	6,372	見学会開催費用、広告掲載費用、ポータルサイト改修費用
その他	2,385	就職支援・相談員出張旅費、講師謝金、出張相談会会場費等
合計	11,252	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

・岐阜県こども計画

第5章 政策の4つの柱に基づく施策の方向

Ⅲ 子育て中の方への支援

(3) 安心してこどもを預けられる受け皿づくり

(2) 他県の状況

全国 46 都道府県 68 自治体で実施（令和3年1月現在）

うち、自治体直営は1道、4県（岐阜県、岡山県、広島県、鹿児島県）、16市

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

年間を通して待機児童の発生を予防するため、県内の保育所等及び放課後児童クラブで必要な従事者を確保し、適切な保育・子育て支援サービスが提供できる体制を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H26, 30)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
①ポータルサイト登録者数	397 (H30)	2,380	2,784	3,188	4,400	54.1%
②潜在保育士、幼稚園教諭等再就職マッチング数	172 (H26)	1,185	1,330	1,475	1,910	62.0%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>県内14か所で潜在保育士向けの保育のしごと見学会を計画し、岐阜、西濃、東濃及び飛騨地域の5か所で中高生向けの保育のしごと見学会（バスツアー）を実施した。</p> <p>成果として、令和4年度は132件の保育所等とのマッチングに繋がった。</p>
	<p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和5年度	<p>県内14か所で潜在保育士向けの保育のしごと見学会を計画し、岐阜、西濃、東濃及び飛騨地域の7か所で中高生向けの保育のしごと見学会（バスツアー）を実施した。</p> <p>成果として、令和5年度は127件の保育所等とのマッチングに繋がった。</p>
	<p>指標① 目標：4,400 実績：2,038 達成率：46.3 %</p>
	<p>指標② 目標：1,910 実績：1,077 達成率：56.4 %</p>
令和6年度	<p>県内14か所で潜在保育士向けの保育のしごと見学会を計画し、岐阜、西濃、東濃及び飛騨地域の6か所で中高生向けの保育のしごと見学会（バスツアー）を実施した。</p> <p>成果として、令和6年度は108件の保育所等とのマッチングに繋がった。</p>
	<p>指標① 目標：4,400 実績：2,380 達成率：54.1 %</p>
	<p>指標② 目標：1,910 実績：1,185 達成率：62.0 %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	県内における保育士の有効求人倍率は2.7倍を超えており、保育業界の人手不足は続いているため、保育従事者と施設との円滑なマッチングを図る本事業の必要性は、依然として高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	令和6年度においても、ポータルサイト登録者数およびマッチング件数は一定の成果を挙げており、保育業界の人手不足の解消に資するものとなっている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	市町村、保育所等、放課後児童クラブ、保育関係団体、ハローワーク等の関係機関と連絡を取り合い、地域の実情に応じてセンターの各種事業を行っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県内の保育士養成施設を卒業する学生の保育所等への就職率が、岐阜県少子化対策基本計画（現：岐阜県こども計画）の目標を下回ったため、学生に対する保育の魅力発信を行うとともに、センターによる継続的な支援が肝要。 また、県内の放課後児童クラブにおける令和7年5月1日現在の待機児童は151名であり、放課後児童クラブに従事する人材を確保するための支援も必要。	
---	--

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和7年度にリニューアルした子育て人材支援センターポータルサイトを活用し、センターの周知をはじめ、求人情報、セミナー及び支援制度等の情報発信を引き続き行う。	
---	--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	保育人材確保のための保育士試験支援事業 【子育て支援課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	保育士試験の受験者とセンターとの接点を設けることで、保育所等とのマッチング促進に繋がる。